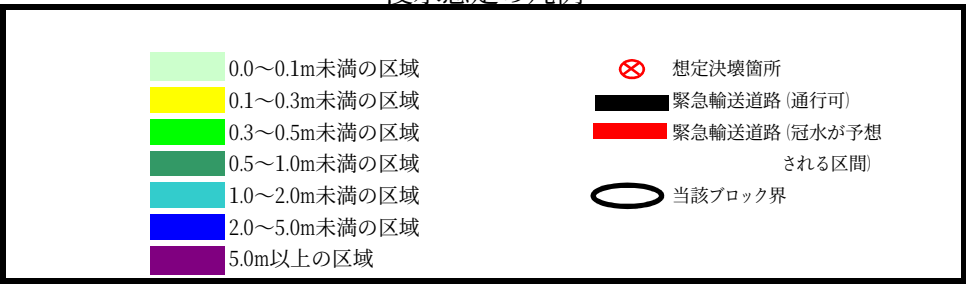


六角川 ⑥牛津川下流左岸はん濫
(決壊地点:左岸08.0km)



〔当該ブロックの特性〕

〔避難所〕すべての避難所が浸水で使用できない校区が存在するなど、避難所の多くが浸水で使用不可となる恐れがある。また、想定決壊付近の避難所では、大きな流体力を受け、倒壊等の被害の恐れがある。

〔電気〕床上浸水が多く、停電世帯が多く発生する恐れがある。

〔上水道〕高層建物が多く、地下機械室の浸水や受水層ポンプ故障により断水する恐れがある。

〔廃棄物〕床上浸水が多く、大量の廃棄物が発生する恐れがある。

〔要援護者施設〕ケアハウス、老人ホーム、特別養護老人施設において浸水する恐れがある。

〔LPガス〕LPガス容器の流出・LPガス供給設備・消費設備の水没により使用不能となる恐れがある。

〔道路〕緊急輸送道路が六角川流域を縦横に走り、部分的ではあるが広範囲で冠水が予想される。また、はん濫水が引いた後も、浸水によって放置された車両などの影響で渋滞が発生し、道路を利用した活動に支障をきたす恐れがある。

〔死者〕約7人(避難率0%の場合)

〔孤立者数〕約3800人(避難率0%、0.5日後の場合)

〔通信〕浸水深が2m以上となれば、交換所の浸水の恐れがあり、通信サービスの提供に影響が生じる恐れがある。

〔家屋流失〕決壊地点から約300mの範囲で居住不可能な家屋被害が出現する。

被害項目

浸水区域内人口(人)	約	17,000
浸水面積(ha)	約	3,400
床上浸水(世帯数)	約	2,800
床下浸水(世帯数)	約	2,200
死者数(人)	約	7(避難率0%)
	約	6(避難率10%)
	約	4(避難率40%)
	約	2(避難率80%)
孤立者数(人)	約	3,800(避難率0%)
	約	3,500(避難率10%)
	約	2,300(避難率40%)
	約	800(避難率80%)

